

## 平成 29 年度第 3 回藤沢市図書館協議会 会議録

日 時 2018 年（平成 30 年）1 月 23 日（火）午後 3 時から 5 時 10 分まで

場 所 辻堂市民図書館 2 階 ホール

出席者 委員側 6 名

委員長 大村 勝敏

委 員 長谷川 豊祐, 神戸 由紀, 於保 ミチ子, 石川 美保子,  
川田 進

図書館側 11 名

総合市民図書館 館長 高橋 眞智子

専任主幹 饗庭 寛子

主幹補佐 岡田 茂雄

専任主幹補佐 瀬戸 あかね

上級主査（再） 渡貫 三吉

上級主査 吉澤 宏直

任期付任用職員 栗山 優里

南市民図書館 主幹 渋谷 宇一郎

NPO 法人市民の図書館・ふじさわ

事務局長 河村 融

辻堂市民図書館 責任者 京田 陽子

湘南大庭市民図書館 責任者 長坂 伸子

### 1. 開会

### 2. 議題

- (1) 施設見学について
- (2) 前回会議録の確認について
- (3) 12 月議会について
- (4) 図書館利用者アンケート中間報告について
- (5) 11 月から 12 月までの事業について
- (6) その他

大村委員長        それでは、平成 29 年度第 3 回藤沢市図書館協議会を開催いたします。  
                          まず始めに本日の会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局            事務局から会議成立のご報告をさせていただきます。  
                          本会議の成立につきましては、「藤沢市図書館に関する規則」第 20 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されております。

                          本日の欠席者は事前に連絡を受けております石塚委員のみで、出席者は 6 人となっておりますので本会議が成立していることを、ご報告させていた

だきます。

また、本日の会議は公開としており、傍聴者は 5 名を予定しておりますが、現時点ではおりません。

事務局からの報告は以上です。

委員長 ありがとうございます。それでは、議題にそって進めてまいります。  
議題（1）施設見学について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題（1）施設見学についてですが、これまでの藤沢市図書館協議会は総合市民図書館で開催してまいりました。

本市には4つの市民図書館がございますので、委員の皆さまにぜひ各館の現地の状況を知っていただきたいという主旨もあり、今回、辻堂市民図書館での開催といたしました。せっかくの分館での開催ですので館のご紹介をさせていただきます。

貴重品以外は、この場に残しておいてかまいませんのでよろしく願いいたします。※事務局1名を残し、施設見学

====京田責任者の案内のもと、施設見学====

委員長 ただいま施設見学を終えましたが、何かご意見等はございますか。

委員 案内表示など分かりやすい施設となっており、非常に良かったです。定期的に利用してみようと思います。

委員長 それでは、議題（2）前回会議録の確認について、事務局から説明をお願いします。

事務局 前回会議録につきましては、1月18日（木）に委員のみなさま宛にご送付させていただきました。みなさまから特にご意見等がなければ、この場で会議録として確定させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 事務局からの説明が終わりました。

それでは、みなさんにお諮りします。特にご異議等がなければ、この場で会議録を確定させていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

特にご異議がないようなので前回会議録につきましては、これで確定といたします。それでは、次の議題に移ります。議題（3）12月議会について事務局から説明をお願いします。

事務局

12月1日（金）から21日（木）までの21日間、開催されました12月議会について、ご報告させていただきます。図書館に関しては、1名の議員から一般質問がありました。

なお、内容につきましては、概要とさせていただきます。

**【質問①】**

岐阜市のメディアコスモスを始め、塩尻市のえんぱ一くなど、さまざまな図書館に共通しているのは、地域課題を捉え、解決していくという機能です。図書館には、地域住民が参加し、地域力を創出していくソフト機能を支える仕組みが重要です。例えば、伊丹市のことば蔵のような、市民の誰もが企画・参加できるソフト事業の取り組みを発展的に推進していくべきと考えますが、市の見解と方向性についてお聞かせいただきたいと思います。

**【答弁】**

伊丹市立図書館ことば蔵で実施している交流事業につきましては、市民が主役となって事業を展開していると承知しております。

本市においても、市民からの提案、共催による多世代交流事業としてワークショップを開催するなど、市民がみずから企画運営に携わる行事の開催に取り組んでおります。

また、昨年度からは、図書館・図書室おはなし会ボランティアからの提案により、子どもと絵本の読み聞かせを楽しむための講座を開催しております。受講者及び企画運営に携わったボランティアからは、非常に高い評価を得ており、地域力を生かすとともに、つなぐことができる本市ならではの事業だと考えております。

今後は他の自治体の事例も参考にしながら、人と人とのつながりを生み出す藤沢らしい取り組みについて研究し、本や読書に関するものだけでなく、さまざまな興味関心に応えるテーマを取り上げ、誰もが参加したくなるような企画や、きっかけづくりとなる事業を展開するなど、さらに地域に役立つ図書館をめざしてまいります。

**【質問②】**

図書館は、言うまでもなく地域の知的財産です。成長社会から成熟社会になり、今後のまちづくりにおいては、ソーシャル、人がつながって新たな価値が生まれるまちづくりに重要な役割を持つと考えます。

総合市民図書館や市民図書室は、本市の図書館が持つべき機能も、成熟社会に対応しリードしていく施設でなければなりません。今後の成熟社会における図書館行政の方向性について、お聞かせいただきたい。

**【答弁】**

成長社会から成熟社会への転換を踏まえ、図書館は地域の「知」の拠点として、地域の課題解決に向けた支援をするとともに、市民の子育てや学び、仕事や趣味、市民活動等、一人一人のニーズやライフステージに寄り添って支援することにより、暮らしやすい地域社会の創造を目指すことが

重要であると認識しております。今後は、人と本、そして人と人が会うための企画や情報発信にも、積極的に取り組む必要があると考えております。

本市は、図書館が子どもから大人まで誰もが気軽に集える居場所となり、誰もが人や地域とつながることでより豊かな人生を送ることができるように、藤沢らしい図書館の発展をめざしてまいります。

委員長 事務局からの説明が終わりました。皆さんからご意見・ご質問等がございますか。

それでは、議題（４）図書館利用者アンケート中間報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 お手元の資料をご覧ください。８月２９日（火）から９月９日（土）までの２週間、４市民図書館で行ったアンケート結果を集計したものでございます。

利用者アンケートの分析や評価、今後の方向性等々については、今後事務局で行い、次回の藤沢市図書館協議会でお示しをする予定です。

（詳細は会議資料に基づき説明）

委員長 事務局からの説明が終わりました。皆さんからご意見・ご質問等がございますか。

委員 図書館の魅力や改善点等は各図書館によって異なると思いますが、図書館ごとの集計結果はあるのでしょうか。

事務局 今回お示しいたしました資料は、４館合計となっています。今後、図書館ごとに集計し、その結果をお示しいたします。

委員 問４の「ク」と「ケ」の分からないと回答した人が突出して多い。何か分析はしていますか。

事務局 現状、分析はまだ行っていません。今後分析を行い、次回の藤沢市図書館協議会で、事務局（案）としてお示しいたします。

委員 ４館の特徴に応じて分析を行い、それを委員に示してほしい。

委員 回収率が４館で大きく異なっています。辻堂市民図書館が回収率 89.29%、総合市民図書館が回収率 66.19%。何かあるのですか。

事務局 辻堂・湘南大庭市民図書館では、バインダーにアンケート用紙を挟み、アンケートをお願いした。

また、記入する際にはカウンター周辺にパイプ椅子を用意するなどより多く回収できるよう配慮した。カウンター周辺にパイプ椅子が置けるだけのスペースがあったからであり、構造上の問題も影響していると思う。

委員長           それでは次に進みます。議題（５）11月から12月までの事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局           総合市民図書館の事業報告については、瀬戸専任主幹補佐・饗庭専任主幹  
点字図書館の事業報告については、瀬戸専任主幹補佐  
南市民図書館の事業報告については、渋谷主幹  
辻堂市民図書館の事業報告については、京田責任者  
湘南大庭市民図書館の事業報告については、長坂責任者  
各館からの資料に基づき説明。

委員            事業数が多いと感じるのですが、実際どうなのでしょう。

事務局           伊丹市のことば蔵では、市民が事業を企画し、年間300を超える事業を行っていると言っています。

藤沢市の図書館では、そこまでいかないものの藤沢らしい事業を展開しています。今回その1つとして、今年度から総合市民図書館内に設けた事業企画実行委員会が企画・立案した事業について担当者からご説明させていただきます。

事務局           「知ること」「学ぶこと」の楽しさや喜びを感じていただくことと図書館利用者の拡大を図ることを目的に藤沢マイスター受賞者とのコラボ（共催）事業「マイスタービブリオテーク」を3月25日（日）に開催します。この事業については、受賞者が9人いるので、今後シリーズで開催する予定です。

事務局           今後も、様々な意見をいただきながら、または様々な情報を収集していきながら藤沢らしい事業を展開していきたいと考えております。

委員長           藤沢市図書館で行っている事業の内容は、全国でもトップクラスだと思います。ぜひ、これらの事業や取組を市民だけではなく、理事者・議会にもお知らせいただければと思います。

事務局からの説明が終わりました。皆さんからご意見・ご質問等はございますか。特にないようなので、続いて議題（６）その他について、事務局からお願いします。

事務局           情報提供3点について説明。

① 2月4日（日）開催 藤沢市地域人権啓発講演会

「ディスレクシアでも大丈夫～読み書きが困難でも読書は楽しめる～」

② 2月24日（土）開催 「かこさとし 創作の原点」

③ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関する情報について

委員長

最後に全体を通して、皆さんからご意見等はございますか。

以上をもちまして、平成 29 年度第 3 回藤沢市図書館協議会を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上